

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	実習	単位数	2単位
科目コード	NK230	科目名	子ども英語指導実習			担当者名	成田 恵子				
授業の概要	この授業では、幼児・児童を対象とした英語活動を円滑に進めていくための指導を学修する。事前指導として本学で実践した保育施設や小学校での英語活動を録画した視聴覚資料を用いた演習や英語活動の現場を想定した模擬授業で指導力の向上を図る。また、近隣の小学校や附属幼稚園での実習体験も行う。事後指導として実習体験の振り返りを行う。J-Shine認定資格の「小学校英語指導者資格」の申請の指導も行う。										
科目の到達目標	・小学校新学習指導要領の目標と内容に沿った「外国語活動」・「外国語」の在り方を理論と実践の両面から体験的に学び、小学校低学年での英語の指導ができる。 ・幼児を対象とした実習指導に関する基本的な知識・技能・態度について理解をする。 ・J-Shine認定資格の「小学校英語指導者資格」の申請をする。										
DPの観点	⑥専門知識・技能(40) ⑦思考力(20) ⑧実践力(20) ⑨主体性(20)										
授業時間外学修 (予習・復習)	・授業計画に沿って予習学修時間と復習学修を1時間程度行う。 ・実習のための指導案作成と教材の準備を3時間程度行う。 ・実習の練習を1時間程度行う。										
フィードバックの方法	模擬授業や実習の実践についてはその都度講評を行い、課題がある場合は改善方法を示す。指導案や日誌は、添削やコメントを付して、個別に返却する。										
単位認定の要件	・実習の活動案作成と教材の準備をし、それに沿った実習ができる。 ・実習を振り返り、授業記録や指導記録を日誌にまとめて提出する。										
評価の方法・割合 (%)	指導案作成と教材準備 40%、実習の評価(模擬授業含む) 40%、実習日誌 20%										
履修上の注意事項	J-Shine資格取得認定共通カリキュラム。「小学校英語指導者資格」(J-Shine)を取得するための必修科目										
回数	予定	実施	テーマ・内容				観点		方法		
1			授業概要(評価の観点を含む)。実習の意義、目的、実習の心構え、諸注意				⑥⑦		ミニッツペーパー		
2			小学校低学年の英語活動のDVDの視聴－小学校の現場を知る				⑥⑦		ワークシート		
3			小学校低学年を想定した英語活動の模擬授業の準備(指導案の作成・修正・教材準備(製作を含む))				⑥⑦		ワークシート		
4			小学校低学年を想定した模擬授業の実践				⑥⑦⑧		ワークシート		
5			附属幼稚園を想定した英語活動の模擬授業の準備(指導案の作成・修正・教材準備(製作を含む))。				⑥⑦⑧		ワークシート		
6			附属幼稚園を想定した模擬授業の実践				⑥⑦⑧		ワークシート		
7			附属幼稚園での英語指導実習の準備①－指導案の作成・修正・教材準備(製作を含む)				⑥⑦⑧		ワークシート		
8			第1回附属幼稚園での英語指導実習				⑥⑦⑧		ワークシート		
9			附属幼稚園での英語指導実習の準備②－指導案の作成・修正・教材準備(製作を含む)				⑥⑦⑧		ワークシート		
10			第2回附属幼稚園での英語指導実習				⑥⑦⑧		ワークシート		
11			附属幼稚園での英語活動実習の準備③－指導案の作成・修正・教材準備(製作を含む)				⑥⑦⑧		ワークシート		
12			第3回附属幼稚園での英語指導実習				⑥⑦⑧		ワークシート		
13			実習日誌の整備				⑥⑦⑧		ワークシート		
14			フィードバックと実習総括・評価				⑥⑦⑧		ワークシート		
15			J-Shine申請の準備				⑥⑦⑨		ミニッツペーパー		
期末試験											
使用テキスト	岡秀夫・金森強(2012)『小学校外国語活動の進め方－ことばの教育として』成美堂										
参考文献 参考URL	・小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説－外国語活動・外国語編 文部科学科学省 ・文部科学省『We Can! 1』、『We Can! 2』、『Let's Try! 1』、『Let's Try! 2』、 ・文部科学省『Junior Total English 1』、『Junior Total English 2』 ・文部科学省『小学校外国語活動サイト』 http://www.mext.go.jp/amenu/shotou/gaikokugo/										
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。										
DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力										
授業の自己評価											